

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：小規模多機能ホーム きいちご倶楽部

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設 (該当に○)

日時：平成 29 年 2 月 14 日 15 時～16 時

会場：第 2 リビング

出席者

(人数)

利用者代表	1 人	有識者	2 人
利用者家族	0 人	高齢者あんしん 支援センター職員	1 人
地域住民の代表	1 人	出雲市職員	1 人
その他(法人理事長、管理者、介護主任、職員)			4 人

(報告事項)

1. ご利用の状況

利用登録者は 11 人である。

2. 主な活動、行事

「きいちご便り」no.5 に沿って月の行事や活動を報告した。

3. 各ご利用者のケア、課題の要点

ご利用者について、ご利用の様子、ケアする上で努めている点などを報告した。

(要望、意見、助言等)

・ご利用者の立場からご希望を述べていただいた。

利用者として、職員が名札をつけてくれるといい。名前を呼ぶことは大事なことです。名前を呼んでくれるとうれしい。われわれ物忘れがあるので、名前をすぐ忘れてしまう。

・近所に犬を飼っている高齢者がいて、利用にあたっては、その犬もつれてきたいと言われるかもしれない。しかし衛生面、安全面から容易ではない。

・徐々に利用が増えてきた理由は、居宅支援事業所のケアマネさんの認知度が上がってきたからだろう。

・地域との交流という意味で、コミセンとの関わりができて、特に敬老会に参加できるといい。

・12 月に催された保育園の音楽のコンサートにきいちごからもご利用者が参加できたのは良かった。

(文責 山崎賢二)